（別紙－４）　　令和○○年○月○日

使用資材及び購入単価等報告書（変更金額計算書）

倉　敷　市　長　様

所　在　地
商号又は名称
代表者氏名

本工事について協議対象の品目内訳は下記のとおりです。
　工事名

品目	規格	単位	① 数量	② 当初 想定単価	③=①×② 当初 想定金額	④ 購入単価	⑤=①×④ 購入金額	購入先	購入年月	⑥=⑤-③ 差額	備考
【鋼材類】											
		t			0		0	○○商社	R01年11月	0	
		t			0		0	○○商社	R01年12月	0	
小計					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
		t			0		0	○○商社	R01年10月	0	
		t			0		0	○○商社	R01年11月	0	
		t			0		0	○○商社	R01年12月	0	
小計					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
鋼材類の合計及び変動額					0		0			0	
【燃料油】											
		L			0		0			0	
		L			0		0			0	
		L			0		0			0	
		L			0		0			0	
小計					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
					0		0			0	
燃料油の合計及び変動額					0		0			0	
請負額【税込】					0						
全体変動額【税込】										0	
単品スライド請求額【税込】				0	+	0	×1/100=			0	

（注）
１．購入先、購入単価、購入数量を証明できる場合は、その資料（納品書等）を添付の上、併せて監督職員に提出すること。
２．対象材料は、品目毎及び購入年月毎にとりまとめるものとする。なお、とりまとめ数量欄が足りない場合は、複数枚になってもよい。ただし、同一の品目で同一年月でも複数の単価がある場合は、区分するものとする。また、当該品目が同一月で複数の工種や機械で使用されている場合、監督員より工種や機械毎等の内訳を提出するよう要求があった場合など、追加資料が必要な場合がある。
３．変動額から受注者の負担額を差し引いて、単品スライド請求額を算出する計算過程を記載すること。
４．計算に際しては、税込み又は税抜きかを明記しておこなうこと。